



東北学院宗教センター便り

いのち ひかり あい

ひとりのみどりごが わたしたちのために生まれた。
(イザヤ書9章5節)

東北学院宗教センター発行 第9号

クリスマス号2024年12月発行

- ★クリスマスメッセージ
- ★東北学院のクリスマス
- ★ヘンデル「メサイア」
- ★クリスマス礼拝のご案内



東北学院のクリスマス



ページェント (降誕劇)



クリッペ (ナティビティー)



キャンドルサーヴィス

ページェントとクリッペについて

イエス・キリストの降誕のことを英語で「ナティビティー (Nativity)」と言い、おもに人形を用いて再現されたクリスマスの場面もそう呼ばれています。

リアルな人形は「実物と混同する(生きていると思う、すなわち偶像となる)」おそれがあると思われ、教会で用いられてきませんでした。しかし、アッシジのフランチェスコはイエス・キリストの降誕の物語を表現するために人形を用いました。1223年、グレッチオ(Greccio)でのことです。おそらくこれが独語で「クリッペ(Krippe)」と呼ばれる、人形を用いた降誕劇の始まりです。以降、人形でクリスマスの情景を再現することが一般的になりました。

幼稚園のクリスマス礼拝は、人形ではなく園児たち自身が沢山練習してきた「ページェント(降誕劇)」や讃美歌が献げられます。保護者の方々と共に捧げる礼拝は、本当のクリスマスの喜びにあふれています。

ろうソクの光は、キリストの時代にも、その後のローマ帝国の時代にも、闇に光る「キリストのひかり」として受け取られてきました。

新約聖書によると、キリストは、幾度も光について語っておられます。「あなたがたは世の光である。あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい」(マタイ福音書5:14-16)。



アドヴェント

アドヴェントとは、「到来」を意味するラテン語に由来します。クリスマスの前の4週間を「アドヴェント」または「待降節(たいこうせつ)」と呼び、イエス様の降誕を待ち望む準備の期間として過ごします。今年は、12月1日から24日(クリスマスイブ=前夜)です。教会の暦では、25日から公現祭(1月6日)までをクリスマス期間としています。

イルミネーション 点灯式

中高、榴ヶ岡、大学でそれぞれ点灯式が行われます。礼拝後、イルミネーションの点灯を見守り、温かな光に主のご降誕を思います。

クリスマスツリーの一番上に飾る星は、ユダヤのベツレヘムでお生まれになった時に、夜空に輝いたという星をイメージして飾られ、「ベツレヘムの星」と呼ばれます。



クリスマス礼拝

中高の「全校クリスマス礼拝」は、中学1年生のキャンドルサーヴィスから始まり、静かなベツレヘムの夜を思わせる光景が、生涯その心に刻まれることが願われています。

榴ヶ岡高校では、「ハレルヤ・コーラス」の全校合唱がコロナ禍前までは行われていました。

「公開東北学院クリスマス」でも、毎年、出席者全員で「ハレルヤ・コーラス」を歌いますので、ぜひどなたでもお越し下さい。

クリスマスカード制作

榴ヶ岡高校では、全校生徒がクリスマスカード制作を行います。真っ白なカードに、クリスマスの絵やメッセージを記し、様々な福祉施設に贈られます。クリスマスの喜びを受けるだけではなく届ける取り組みです。またこれまでに、主イエスの御生涯をステンドグラス風に作成する「聖画制作」も行われていました。

「東北学院とクリスマス」

大学宗教主任 藤野 雄大

五橋キャンパス開学に伴い、昨年度から五橋キャンパスでも公開クリスマスが実施されています。東北学院では、公開クリスマスを始め、多くのクリスマス関連行事が行われていますが、その138年間の歴史の中でクリスマスはどのように祝われてきたのでしょうか。

ホーイ先生は、1886年、仙台神学校(東北学院の前身)設立後最初のクリスマスに女学校(宮城学院)のクリスマス会に出席したことを記していますが、仙台神学校については言及していません(*The Messenger*, Dec.26,1886)。一方、押川先生の肝煎りで始まった労働会では、比較的早い段階で、独自のクリスマス礼拝を行うとともに、その後の祝会では「菓子蜜柑等の饗応」と「福引の余興」などがあったようです。(*『東北教会時報』*明治35年1月20日号)

このように当初は、近隣の諸教会や労働会のクリスマスはあっても、本学全体のクリスマス行事はなかったようです。その理由としては、クリスマス直前に定期試験があり、試験終了とともに冬休みになってしまうことが挙げられています。転機となったのが、1916年、本学創設から30年目のことでした。シュネーダー先生の説教の中で、この年、初めて東北学院全体でクリスマスをお祝いすることになったと記されています(*Schneder, Address at 1st Xmas of Tohoku Gakuin*,1916,Dec.21,東北学院史資料セン

ター所蔵)。同年の『東北学院時報』にも「これまでは労働会、寄宿舎、それぞれに盛んな基督降誕祭を執行して来たが、今年から学校として全体を纏めて行うことに定まった」(*『東北学院時報』*大正5年12月15日発行版、旧字体を改めた)と書かれています。

学校全体としてのクリスマス礼拝の中では、生徒・学生による聖句暗唱、英語朗読、英語での賛美、牧師の説教(演説)などが行われていました。また最後には「菓子分配」もあったようです(*『東北学院時報』*大正10年1月1日発行版)。在校生にとっては試験終了直後で準備が大変だったようですが、同時に楽しいひと時でもあったでしょう。しかしその後、戦争の気配が増し、キリスト教に対する風当たりが強まる中で、時勢を慮ってか、『学院時報』ではクリスマスについての記載が無くなっていきます。

学院全体のクリスマスは、戦後に復活を遂げました。1950年には、「東北学院クリスマス」が、「公開クリスマス」に改称され、地域の人々に公開される例を開きました。そして1989年、旧泉キャンパス開学2年目から「泉キャンパス公開クリスマス」も毎年開催されるようになりました。このように「東北学院全体」のクリスマスにも、長い歴史がありました。クリスマスとは、本学全体の融和の象徴であり、地域と本学とをつなぐ大切な架け橋であったと言えるでしょう。

Written by Yūdai Fujino

Messiah by Handel

「メサイアを聴く」

クリスマスが近づくと、キリスト教系の学校では〈ハレルヤ〉の練習が始まります。〈ハレルヤ〉はG.F.ヘンデル作曲の《メサイア》の1曲で、聴いたことがある曲でしょう。《メサイア》とはメシアのことで「救い主」、つまり「イエス・キリスト」を歌います。全体は3部からなり、第1部「イエスの誕生」、第2部「受難と復活」、そして第3部「永遠の生命」がテーマとなっています。当時《メサイア》は教会で演奏されず、劇場で演奏される作品でした。ですからヘンデルは、「救い主」というタイトルをつけたのです(当時イエス・キリストについて劇場で歌うことは好ましくないとの意見がありました)。《メサイア》は1750年以降、イギリスの児童養護施設のチャリティーコンサートで演奏されるように



大学宗教主任 椎名 雄一郎

なり、ヘンデルの死後、遺言によりこの施設に《メサイア》の楽譜一式が遺贈されています。

19世紀に入るとヨーロッパ諸国では、市民が楽しみとして合唱曲を歌うようになりました。明治時代、日本に派遣されてきた宣教師たちも、設立した学校で合唱を歌おうと《メサイア》の中で、特に有名な〈ハレルヤ〉を歌うようになったようです。それは合唱を楽しむためだけではなく、クリスマスの時期に、クリスマスの喜びを様々な苦しみの中で生きている方々にも分かちあいたいとの思いから、《メサイア》が演奏されるようになりました。今年のクリスマスは《メサイア》を聴いてみませんか？

Written by Yuichiro Shiina

公開クリスマス



公開クリスマスのご案内

第2回五橋クリスマス ～聖書と音楽の夕べ～	日 時：2024年12月6日(金) 18:20～20:20 (開場 17:50) 場 所：東北学院大学五橋キャンパス 押川記念ホール 詳 細：第一部 礼拝 第二部 クリスマスコンサート 第三部 点灯式
東北学院同窓会 クリスマスコンサート	日 時：2024年12月10日(火) 18:30 開演 場 所：東北学院大学五橋キャンパス 押川記念ホール ※事前申込制 “好評につきお申込みが定員に達しました”
第75回公開東北学院 クリスマス	日 時：2024年12月13日(金) 18:30～20:30 (予定) 場 所：ラーハウザー記念東北学院礼拝堂(土樋キャンパス) 説教者：江間 紗綾香 牧師(日本基督教団 世田谷平安教会)

東北学院各校の学内クリスマス

大学クリスマス	日 時：土樋 2024年12月12日(木) 10:05～10:55 五橋 2024年12月12日(木) 15:00～16:00 説教者：高田 恵嗣 先生(北陸学院中学校・高等学校宗教部長)
幼稚園クリスマス	日 時：2024年12月19日(木) 詳 細：礼拝及びページェント (年少・年中の部 10:00～11:00 年長の部 13:45～15:00)
東北学院職員クリスマス	日 時：2024年12月24日(火) 場 所：ラーハウザー記念東北学院礼拝堂(土樋キャンパス) 説教者：原田 浩司 教授(大学宗教部長)
中学校・高等学校 クリスマス	日 時：2024年12月24日(火) 説教者：福島 純雄 牧師(日本基督教団 福島教会)
榴ヶ岡高等学校 クリスマス	日 時：2024年12月24日(火) 説教者：長尾 厚志 牧師(日本基督教団 仙台ホサナ教会)



東北学院宗教センターだより
「いのち ひかり あい」
バックナンバーは
こちらから▶▶▶▶▶



「いのち ひかり あい」第9号

発行：東北学院宗教センター
発行責任者：宗教センター主任 原田 浩司
〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1
TEL: 022-354-8310
Email: c.center@mail.tohoku-gakuin.ac.jp



▲宗教センターHP